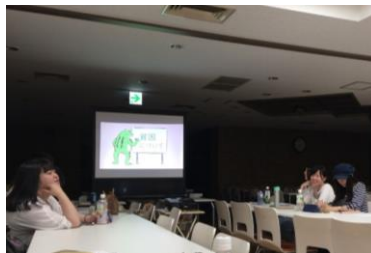


学生委員会内で知りたい内容・分野を集約し、主体的に部会を活用し学び合う！

社会的課題の活動の手法に困っている学生委員会が多いのではないだろうか。活動への一歩として自分たちがまず学び合う、部会での学習会を紹介する。

活動概要

京滋・奈良エリアの推進委員会に所属するメンバーがいたことが、学習会がスタートしたきっかけだった。学習会のテーマは、推進委員会のメンバーで数個の選択肢を考え、その後**学生委員会のみみんなで選んで決定**した。学習会の担当はそのテーマの内容を**自分で調べて、部会内で発表**をした。



△学習会の様子

POINT.1 自分たちで調べる！発表する！交流する！

貧困とは



- ・相対的貧困
- ・絶対的貧困

私たちにできること。

- ・思っていないけど、放棄しないこと
- ・自分でできる関わりを持つこと



△学習会のパワーポイントスライド

学習会のテーマは[共済・選挙・貧困・防災]で、**1回の部会で1つのテーマの発表**を行った。その中の貧困を題材に紹介する。

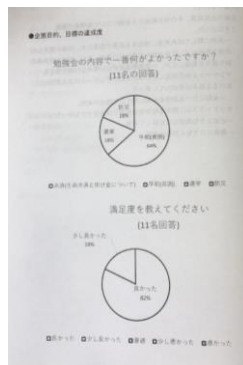
学習会の中で貧困は**相対的貧困と絶対的貧困**があることが紹介された。日本では相対的貧困率が増加傾向にあることが**データから示された**。そのような中で、**自分たちでも何かできることがある**ということで、自大学の食堂の寄付金付きメニューや購買の寄付金付きのコーヒーが紹介された。

発表後は**質問の時間**もあり、学生委員の質問に発表者が答えていた。質問への受け答えもしっかりしていて、**事前の下調べの丁寧さ**が表れていた。

自大学ならではの関りを見つけ学習会の内容に取り入れられている点が**教訓的**である。

POINT.2 学習会のアンケート！夏合宿で振り返り！

学習会終わりには学習会に参加した**学生委員にアンケート**を取っていた。アンケートは学習会への満足度だけでなく、学習会で取り上げてほしい内容や、学習会の**理解度を測るテスト**も含まれていた。このアンケートを元に夏合宿で振り返りをし、理解度の達成度などから**学習会の評価**を学生委員会全体でできていた。



京都橘大学生協学生委員会OLIVE
部会での学習会「共済／選挙／貧困／防災」